

西宮市の方針決定

子どもの保育室面積、せまくしません！



厚生労働省が、保育所の待機児童の多い市町村のうち、三十五の自治体で「子ども一人当たり保育室の国基準面積より狭くしてもよい」と、今年五月に発表、この中に西宮市も入っていました。

十一月十四日に開催された厚生常任委員会では、「保育環境を守るため、面積基準（2歳未満児三・三㎡、2歳以上児一・九八㎡）は狭くし

ません。待機児童解消にこれからも力を尽くします」と説明しました。

六月議会・党市議団の論戦が実る

国からの一方的な面積緩和押し付けに対し、市議団は六月議会、佐藤市議が本会議一般質問で「子どもたちの保育環境悪化となることから、こ

さらに、保育所の新增設とは別に、各園で面積基準を守りながら、さらに受け入れができないかと調査が行われ、

各園の努力で、来春は二五二名の受け入れが拡大されることに

公立で一〇五名、私立で一〇二名、合わせて二五二名の受け入れが可能となりました。まだ深刻な保育状況ですが、一歩前進ですね。



れ以上狭くしない」「もっと保育所をつくり、待機児童の解消をはかれ」と求めました。今回の市の決断は、市議団の主張が実ったものです。

日本共産党

上田さち子です



2011. 11. 20号

(発行)

日本共産党市会議員

上田さち子

川添町五・十八

電・三五一二八一三

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

市民のくらしと地元業者守れと 「TPP参加反対」で団体訪問

11.4原発ゼロをめざす 西宮集会・パレード

西宮からも「原発なくそう」の行動を！と、11月4日集会とパレードが市役所前公園で開催され、私も参加しました。150名を超す方々が手作りのプラカードなどをもって集まり、エビスタ前までパレードも行いました。市議団からは9月議会で「原発から、自然エネルギーへの転換を求める意見書」が全会一致で採択されたことも報告しました。



カラフルなプラスターなど
持ってパレード

日本共産党市議団は十一日、TPP交渉参加問題で市内各団体を訪問しました。訪問したのは西宮市商工会議所やJA、農業委員会委員、西宮建設協会等々十

九団体(個人)でした。商工会議所では、「今でも円高等で仕事が減り、運送関係では荷主が海外に行ってしまう」と、市内事業所の切実な状況が話されました。



また、公共事業が減って事業者も半減している建設関係では、「公共事業に外国資本が入札し、外国の安い労働力を使ってダンピング競争となってしまう」という声も。

亡国の道へ、野田首相が「交渉参加表明」

国民の反対や懸念が広がる中、アメリカと日本の財界の圧力を受けた野田首相は、「TPP交渉参加」を正式表明しました。

開国だと言いますが、私たちのくらしに影響し、国の形まで変えてしまう「壊国」になるTPP参加。今後、市議会の中で論議していきます。

TPPで市政への影響は？



TPPは農業問題だけではなく、西宮市の国民健康保険制度が壊されたり、学校や市住など公共事業も、外国資本の儲けの対象に。市内業者の育成なんて「じゃまだ！制度をなくせ」(非関税障壁の撤廃)と圧力がかかってしまうんですよ。